

## 「中標津っていいところ!!」

# まちのみんなで歌って

### 町在住の作曲家 牧野さん



「中標津」デュエットの名曲「赤いグラス」などの作曲家で根室管内中標津町在住の牧野昭一さん(七)がこのほど、自作の歌「中標津っていいところ!」の総譜(スコア)などを町教委

に寄贈した。「子供も大人もまちの人たちみんなで歌ってほしい」と願う牧野さんに、須郷英喜教育長も「各学校に協力を呼び掛け、この歌を広めたい」と応じた。

に寄贈した。「子供

この歌はもともと、牧野さんが町内の保育園の園歌として作詞、作曲し、今年四月、町に寄贈した。中標津のおおらかな風物を、十六ビートの軽やかなリズムに乗せて、明るく楽しい旋律で歌う。

「中標津っていいところ」で始まるこの歌を、須郷教育長が聴き、「住むまちを『いいところだ』と歌い上げるプラス思考の曲で、みんなが心を一つにできる」と感激。保育園だけでなく、町民の集まる機会にみんな

寄贈した総譜を前に、オーケストラに準じた編曲で、「中標津っていいところ!」をキーボードで演奏する牧野さん

## 総譜を町教委に寄贈

### 「学校回り指導したい」

で歌って心に刻みつけたい、と牧野さんに協力を持ち掛けた。

中標津を好きになり昨年秋に東京から移り住んだ牧野さんも、須郷教育長の熱意に打たれ、歌を手直しした上で、オーケストラからブラスバンド、子供たちの器楽合奏まで、どんな編成でも演奏できるよう配慮して編曲した総譜を一週間がかりで完成させた。同時に寄贈した四部合唱の譜面も「高度な合唱にも、子供たちの合唱にも使え、二部合唱もできる」労作だ。

牧野さんは、今月初めの町小中学校音楽交流発表会を鑑賞して「子供たちと教師の心のつながりに、このまちは素晴らしいとあらためて感じた」といい、「この感激を伝えるためにも、町内すべての学校を回って指導したい」と話している。